

構内車両として超小型EVを導入

沖縄ターミナル株式会社（所在地：沖縄県うるま市、代表取締役社長：岸 主税、以下当社）は、2022年6月14日、当社で使用する構内車両として株式会社タジマモーターコーポレーション（本社：東京都中野区、代表者：田嶋伸博）が提供する超小型EVを導入しました。



このたび導入した超小型EVは、軽自動車よりコンパクトで小回りが利き環境性能に優れた2人乗りの車両で、家庭用100V電源により充電を行い（充電時間：6～8時間）、最高速度約45km、航続距離140kmの性能となっています。当社ではこれを構内車両として導入し、社員による設備管理など構内の移動手段とすることで、二酸化炭素排出量削減の取り組みの一環としています。今後、構内に再生可能エネルギーである太陽光発電による専用の充電ポート等の設置を検討し、さらなる環境負荷の低減を目指します。

当社はうるま市平安座島に主要設備として原油タンク16基（貯油容量156万KL）とシーバースを有し、原油の備蓄並びに入出荷を主要業務として我が国の石油エネルギーの安定供給を担っており、2022年は創立50年目の節目の年にあたります。石油を扱う企業として、来る低炭素社会への対応に向けて次世代エネルギーの導入や利用促進をはかるなど、新たな取り組みを進めてまいります。

〔お問い合わせ先〕

本リリースに関する問い合わせ

沖縄ターミナル株式会社 総務グループ 比嘉・宮里

電話：098-977-8341

FAX：098-977-7411

H P : <http://otc-henza.co.jp/>

